

ながぬま



長沼小学校で大豆の授業

— JAながぬま青年部 —

デイワーク利用 説明会開催

3月16日、農繁期の労働力確保に向け、デイワーク利用説明会を開催し、48名が参加しました。
始めに、デイワーク開発者の鎌倉インダストリーズ株式会社原代表取締役社長がデイワークの取組み内容や実際の操作について説明しました。また、利用者の感想や今後のデイワークの展開など、農業の労働力



デイワークについて説明する原社長

不足解消に向け解説しました。続いて、社労士法人ホームランの矢部執行役員がデイワークを利用する際の雇用・労務管理についてわかりやすく解説しました。また、ホクレン農業総合研究所の四辻考査役からは、『パートさん採用や受け入れについて』、JA北海道中央会岩見沢支所にて『説明がありました。』
今後、本格的な事業活用に向け農業者の利用しやすい体制を目指してまいります。

デイワークの利用申し込みが始まりました！

組合員の皆様は、デイワークを利用するためには、利用申込書の提出と労災保険の加入が必要です。営農企画課で随時受付しています。

※労災保険の加入等に一定の間を要しますので、デイワーク利用の1か月前までに手続きをおねがいします。

お問い合わせ
営農部営農企画課
TEL 8812226

JA営農指導実践北海道・東北ブロック大会で優秀賞



令和2年12月18日、北海道・東北農業対策協議会主催の「JA営農指導実践北海道・東北ブロック大会」が開催されました。この大会はJAにおける営農・経済事業体制の強化および営農指導員のレベル向上を通じて、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」の実現を目指すことを目的とし今回、北海道代表として経営相談課の今村課長が出席しました。コロナ禍のため、事前収録映像で



の開催となりましたが、『第3の作物』ブロックリーの産地確立へ向けた取り組みと農業者の所得増大と豊かで魅力ある地域づくりをテーマに、小麦・大豆に次ぐ『第3の作物』としてのブロックリーの生産振興について、経営相談部における「出向指導体制」による普及・指導の実践内容を発表し、優秀賞を受賞しました。

児童に豆腐の作り方を解説

3月16日、JA青年部は長沼小学校体育館で豆腐作りの授業を開き、3年生95名が参加しました。

長沼小学校の3年生は、地域の代表的な作物である大豆について学習を深め、大豆づくりに関わる人たちの苦労や思いを学んでおり、2月18日には、札幌市の伊丹食品株式会社の協力で、児童が育てた大豆で製造した豆腐を学校給食に提供し、味わってもらおうなど、播種から食べるまでを体験しています。

この日は、家庭で実践できる豆腐の作り方を実際の作業動画を見ながら、青年部員が解説しました。児童からは、「大豆の品種によって味の違いがわかるのか」「大豆の品種名の由来は何か」「豆腐はいつから作られていたのか」など、大豆や豆腐に関わる多くの質問がありました。



児童からのお礼の言葉



児童から多くの質問がありました

女性部部会活動報告

◆女性部役員・理事研修

3月5日、女性部の理事と役員16名で、理事会終了後にマスケース作りの研修会を行いました。用意したキットに事前を選んで生地を貼って作り出した。研修後には「地区の部員との研修に利用したい」といった声もあり、桃野部長は「コロナ禍でも部員の皆さんと出来ることを考え、発信することがかかった」と話しました。



◆生活展開催

3月19日、Aコープながめま店内において生活展を開催しました。5地区9名が出席しました。Aコープのチラシにも掲載していただいたおかげで、たくさんのお客様が足を止めて作品を見て購入してくださいまし

た。「一年楽しみにしていただく」良かった」と言ってくださる方もいました。



◆フレッシュユミズ活動

3月8日にスポーツセンターでフレッシュユミズヨガ講習会開催しました。スポーツインストラクターを迎え、コロナ対策を取りながら、冬季間の運動不足解消に柔軟な体と体感を鍛えるヨガを約50分、体も温まってきた頃に、リズムミカルな音楽に合わせてエアロビクスも行いました。



50分、体も温まってきた頃に、リズムミカルな音楽に合わせてエアロビクスも行いました。

ました。講師の先生と動きを合わせ一体となり、最高のフレッシュユミズができました。

◆フレッシュユミズ部員「募集！」

JAながめまフレッシュユミズ部会では新規部員を募集しています。
*お問い合わせは事務局 田中まで

◆ひまわり部会研修会

3月12日、ひまわり部会では研修会を開催し、18名参加しました。長沼町保健福祉課の小島管理栄養士を講師に「コロナに負けない免疫力を上げる栄養のお話」をテーマとして、免疫力を上げる食習慣や食材の健康効果などを学びました。



担い手育成緊急特別研修事業 参加者募集

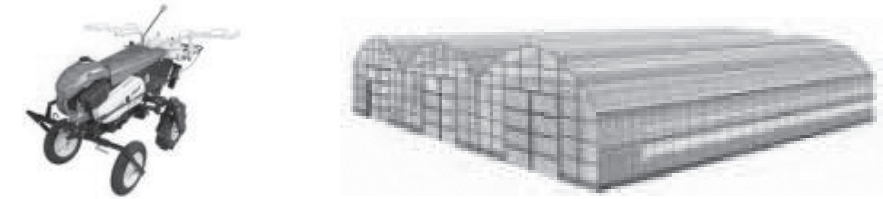
～農業研修費用の助成をします～

目的	新たな農政改革や諸外国との交渉などで農業の国際化が一層進展する中、国内農業は農業者の高齢化や地域農業の担い手づくりが課題となっています。 このことから、農業者自らの課題や今後の農業の将来像を描くために、国内や海外の先進地の視察研修や、後継者が農業知識・技術取得を目的とした研修参加に対する助成事業を実施します。
主催	ながめま農業協同組合
実施期間	令和元年度～3年度までの3カ年間
事業内容	《視察研修事業》 <ul style="list-style-type: none"> 国内研修は、研修に要する経費の2/3以内（一人当たり5万円を上限）（3人以上はグループとして、1グループ15万円を上限） 海外研修は、研修に要する経費の2/3以内（一人当たり15万円を上限）（3人以上はグループとして、1グループ45万円を上限） ※視察研修事業への参加助成は、実施期間内1回までとする ※グループ参加は、6割以上が新たな参加者であること ※生産組織など農協組合員組織主催の視察研修は助成対象から除きます 《農業技術習得事業》 下記の研修先での受講に要する経費 (1)北海道立農業大学校 (2)北海道花き・野菜技術研修 (3)北海道農業協同組合学校 など
申込先	農協本所 営農企画課 電話 88-2232
その他	<ul style="list-style-type: none"> 参加報告書の提出を必須要件とし、その内容をJAだよりに掲載いたします。 長沼町においても、研修助成事業がございますので、詳しくは、長沼町産業振興課にお問い合わせください。

『農業用ハウス導入助成』『園芸作物ブランド化支援』『畑作物・野菜生産対策支援』事業のご案内

JAながめま 担い手支援事業 ・ 長沼町 がんばる農家支援事業

意欲ある担い手（組合員農家）が、効率的かつ安定的な経営を行うため、JAながめま『担い手支援事業』と、長沼町『がんばる農家支援事業』とが一体となり、新たな作物生産や作付拡大、排水対策、雑草対策に必要な農業用機械に対する支援を行います。



事業名	『農業用ハウス導入助成事業』（実施期間：令和2年～4年度 3カ年） 『園芸作物ブランド化支援事業』（実施期間：令和2年～4年度 3カ年） 『畑作物・野菜生産対策支援事業』（実施期間：令和2年～4年度 3カ年）
対象者	ながめま農協組合員、町内農業者
助成額	事業費の30%（千円未満は切り捨て） ※JAながめま、長沼町がそれぞれ15%助成します。 『農業用ハウス導入助成事業』の助成上限額：事業実施期間中60万円 『園芸作物ブランド化支援事業』の助成上限額：事業実施期間中、1機種60万円 『畑作物・野菜生産対策支援事業』の助成上限額：事業実施期間中、1機種60万円
主な内容	『農業用ハウス導入助成事業』 農業用パイプハウスと一体的に使用する備品・資材（パイプハウス、遮光ネット、換気扇、ボイラー、灌水設備等） ①導入する農業用パイプハウス（新品）は、1棟単位で設置すること ②ハウス導入により、新規または作付拡大となること ③ハウスの単純更新、格納庫等に使用するハウスは対象外とする ④園芸施設共済の加入など、災害等の備えは各自で行うこと ほか 『園芸作物ブランド化支援事業』 野菜栽培において、低温、長雨、干ばつ、作付拡大に必要な機械（高畦形成機械、マルチ敷設機械、野菜移植機、野菜（セルトレイ）播種機、畦間サブソイラー（深耕カルチベーター）、散水機（農業用ハウス灌水設備は対象外）、発芽器、温風機（作型拡大及び育苗の拡大も含む。ただし、電源及び燃料タンクを除く） 『畑作物・野菜生産対策支援事業』 畑作物・野菜栽培において、表面排水対策、雑草対策に必要なとする機械（溝掘り機、畦間散布機）

事業参加希望者は、資材センターで見積書の受付をしておりますので、参加申込書に必要事項を記入の上、営農企画課まで併せて提出をお願いします。

※様式等におきましては、別途ご案内しております。

お問い合わせ 営農部 営農企画課 TEL 88-2226
資材センター TEL 88-2407

農業後継者進学資金助成制度

農業後継予定者の進学資金の利息負担を助成いたします

ながめま農協独自の農業後継者確保対策として、**就農見込みのある農家子弟の進学**に必要な資金の借入に対する利子助成対策を講じ、後継者の確保と経営負担の軽減を図ることを目的として行っております。

農協で手続きされた国の教育ローン及び農協教育ローンの借入を行った組合員及びその家族が助成対象者です。

	国の教育ローン	農協の教育ローン
利子助成対象	就農予定の農家子弟に対する借入金	
助成対象資金融資限度額	200万円以内	
助成利率	設定金利相当（無利息）	
助成期間	5年間（60ヶ月）限度	

お問い合わせは、営農部 営農企画課へ TEL 88-2232（直通）

4~5月上旬の

大豆栽培

ポイント



1. 排水対策と土壌改良

(1) ほ場の排水改善

ほ場の透排水性の良否が大豆生育の良否に大きく影響しています。

排水路の清掃（排水路の滞水回避）、心土破碎、額縁明渠の施工等ほ場排水性改善が必須です。ほ場条件によっては、暗渠排水の再整備、カットドレーン等による補助暗渠の施工をしましょう。

(2) 土壌pHを確認し、pH6を目標に

令和2年畑土壌の土壌診断結果では、基準（pH5.5～6.5）以下が4割程度あり、pH5以下も1割程度あります。炭カルなどでpH改善しましょう。

※ pH6矯正への炭カル施用量（kg/10a 改良深10cm）

測定値（pH）	5.0	5.2	5.4	5.6	5.8
砂壤土	169	135	102	68	34
壤土	251	202	150	101	48
埴壤土	337	270	202	135	67
埴土	424	338	255	169	86

※アレニウス氏表による酸性矯正用より（腐植程度：含むの場合）

2. 雑草対策

前年雑草多発ほ場（雑草発生の場合）は、耕起前に「ラウンドアップマックスロード」等処理により雑草処理対策をしてください。

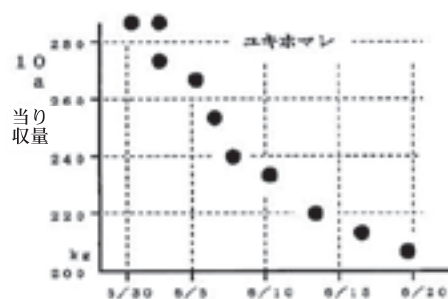
3. 適期は種

は種時期が遅くなると、着莢数の減少、豆の小粒化となり品質・収量が落ちます（右図）。可能な限り、水稲移植より大豆は種を優先しましょう。

また、発芽揃い及び土壌処理剤効果向上へ、**土壌土塊は2cm以下の砕土**を目指しましょう。

※は種作業時期の目安 地温 10℃以上
ユキホマレ・トヨムスメ・ユキシズカ 等
5/15～5/25

※平均気温が10℃以上となる時期（平年は5月10日頃）



4. 病害虫防除とは種後の低温時の出芽向上対策

は種後低温が続いた場合は、土壌中のピシウム菌により出芽障害を起こした事例が長沼町で過去に何度か見られている、必ずは種前に種子粉衣してください。（は種前日か当日）

●クルーザーMAXX使用の場合（アブラムシ、タネバエ、他病気に効果）

- ① クルーザーMAXXを塗布（種子1kgに8ml）
- ② 種子乾燥後根粒菌を接種（ノーキュライド種子は不要）

5. 基肥窒素の留意点

- ① 基肥チッソ量は、10a当り1.5～2.0kgを目処とする。
- ② 前作が野菜（タマネギ・長ネギ・はくさい・ブロッコリー、スイートコーン）及び甜菜の場合は、基肥は無肥料とする。一倒伏防止

6. 適正なほ量

トヨムスメ 8～8.5kg ユキホマレ 7～7.5kg ユキシズカ 3kg を目処に

4~5月上旬の

秋小麦栽培

ポイント



1. 起生期茎数に応じた追肥窒素施用量（kg/10a）

品 種	起生期茎数 （本/㎡）	追 肥 時 期					合 計
		起生期（4月）		幼形期	止葉期	出穂期～	
		上旬	中旬	5月上旬	5月下旬	6月上旬	
きたほなみ	極めて多い (1600以上)	—	0～2	2	4	(2)	6～8 (8～10)
	多い (1200～1600)	—	2～4	4	4	(2)	10～12 (8～14)
	中庸 (700～1200)	6	—	4	4	(2)	14 (16)
	少ない (500～700)	7～8	—	4	4	(2)	15～16 (17～18)
ゆめちから	多い (1200～1600)	—	6	0～3	4～6	(2)	10～15 (12～17)
	中庸 (1300～1500)	9	—	0～3	6	(2)	15～18 (17～20)

※ 茎数が多い場合は、起生期すぐに追肥をするのではなく、追肥時期を遅らせる、追肥の回数を分けるなどの対応が必要である。また、**倒伏軽減剤の徹底が必要**である。

平年の生育期節

起生期 4/2 幼形期 5/2 止葉期 5/25

※ ㎡当り茎数算出方法

条播（ドリル） 50cmの茎数×2倍×100cm÷条間（cm） 例 50本×2×100÷15＝667

散播（ばらまき） 33cm×30.3cm四角内の茎数×10倍 例 70本×10＝700

2. 雑草対策

●イネ科雑草（スズメノカタビラ等）に対する除草剤

トレファノサイド乳剤（200～300ml/10a）4月上旬（処理は早いほど効果高い）

●広葉雑草に対する除草剤

◎低温時（5℃以下は避ける）

※ エコパートフロアブルとハーモニー75DF水和剤の使い分け

○ギシギシが無い → エコパートフロアブル（50～75ml/10a）

○ギシギシ、ミチヤナギが有る → ハーモニー75DF水和剤（7.5～10g/10a）

※ エコパート及びハーモニーは、越冬した大型広葉雑草には効果が劣る。

◎20℃以上の晴天時を見計らって処理する

※ MCPソーダ塩（300g/10a 収穫45日前）

幼穂形成期（5月上旬）以降に使用、雑草が大きくならないうちに散布する。

※ バサグラン液剤（100～150ml/10a 雑草の3～6葉期 収穫45日前）

※ **除草剤使用後のタンク等は洗浄処理する。**

3. 倒伏防止（主な植物成長調整剤）

サイコセルPRO { 幼穂形成期 150～200ml/10a（1回）
出穂前10日～20日 200～300ml/10a（1回）
（止葉期頃）

※ サイコセルPROの2回処理（例）**幼穂形成期（150ml/10a）+止葉期頃（200ml/10a）**

4. 眼紋病防除（幼穂形成期頃に）

ユニックス顆粒水和剤47（500～700倍液 100ℓ/10a）

カンタスドライフロアブル（1500倍液 100ℓ/10a）

人事異動

(令和3年4月1日付)

細川 秀樹 内部監査室審査役 (内部監査室長)

高瀬 好之 販売部審査役 (販売部長)

松村 裕二 管理部審査役 (資材部長)

高嶋 良幸 資材部長 (管理部次長)

山村 範人 販売部長 (販売部次長(園芸蔬菜担当))

富澤 和幸 営農部営農企画課長兼 務を解く (営農部次長兼営農企画課長)

仁和 貴也 管理部次長 (販売部米穀畜産課長)

氏家 真吾 販売部次長(米穀畜産担当)

(金融部貯金課長兼 貯金係長)

高田 久士 金融部貯金課長 (管理部企画融資審査課長)

藤村 弘幸 北長沼支所長 (北長沼支所営農経済係長)

安藤 健 管理部企画融資審査課長 (管理部管理課長)

久保 敦 金融部共済課長兼渉外課長 (舞鶴事業所長)

倉 誠司 販売部米穀畜産課長 (販売部米穀畜産課 米穀畜産係長)

清水 大地 営農部営農企画課長 (経営相談部経営相談課 経営相談係長)

森本 富一 管理部管理課総務係長 (管理部管理課総務係)

小西 伯泰 舞鶴事業所長 (資材部営農資材課 営農資材係調査役)

高瀬 智徳 経営相談部経営相談課 経営相談係長 (営農部営農企画課 営農推進係長)

福田 康伸 販売部米穀畜産課 米穀畜産係 (資材部営農資材課 営農資材係)

高橋 雄也 販売部園芸蔬菜課 園芸蔬菜係 (経営相談部経営相談課 経営相談係)

鳥井 純平 販売部園芸蔬菜課 園芸蔬菜係 (販売部米穀畜産課 米穀畜産係)

小野寺琢杜 経営相談部経営相談課 経営相談係 (販売部園芸蔬菜課 園芸蔬菜係)

山本 健輔 資材部営農資材課 営農資材係 (販売部園芸蔬菜課 園芸蔬菜係)

川口友理恵 金融部融資課融資係 (金融部貯金課貯金係)

川辺 紗世 金融部貯金課貯金係 (金融部共済課共済係)

笹森 雅彦 北長沼支所営農経済係 (資材部営農資材課 営農資材係)

(令和3年4月1日付)

長期臨時職員異動

退職職員

(令和3年3月31日付)

永年のご勤続
ありがとうございます

北長沼支所長 千原直樹

金融部 共済課長 成田伸彦

金融部 融資課 融資係 渡邊佳苗 (旧姓 三田)

定年退職者に係る再雇用職員

管理部 管理課 総務係 渡部明美

資格試験合格

農協内部監査士

管理部 管理課 総務係 森本富一

農業経営診断士

経営相談部 経営相談課 経営相談係 高橋雄也

営農指導員

経営相談部 経営相談課 経営相談係 鵜淵陽佑

新規採用職員

(令和3年4月1日付)



営農部 営農企画課 企画振興係 舟橋 皓平
由仁町出身 23歳
趣味 野球観戦、映画鑑賞
一日でも早く慣れ、仕事を覚えらるるよう頑張ります。



金融部 共済課 共済係 玉井 丞真
千歳市出身 22歳
趣味 ドライブ
一生懸命業務に取り組む、組合員の皆様のお力になれるよう頑張ります。



資材部 営農資材課 営農資材係 森田 竜人
長沼町出身 23歳
趣味 キャンプ、つり
何事も全力で挑戦し、上司・先輩の話をしっかりと聞いて、早く仕事を覚え、皆さんの役に立ちたいです。



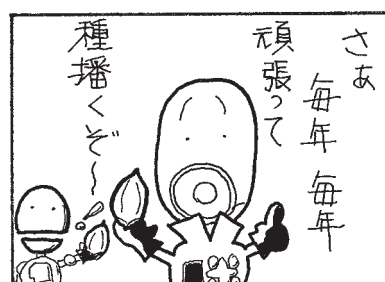
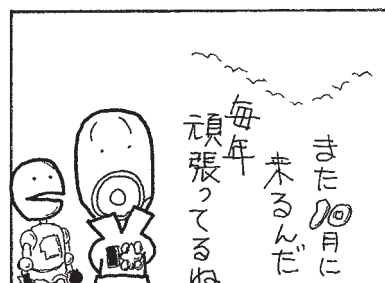
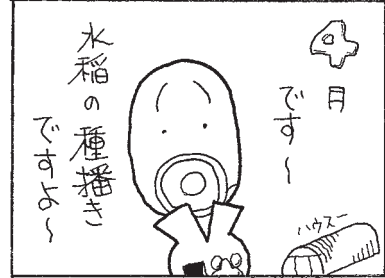
販売部 米穀畜産課 米穀畜産係 吉田 光汰
栗山町出身 18歳
趣味 スポーツ(野球・スキー)
周りの方々の動きや発言などを見聞きし吸収して、少しでも早く仕事に慣れるよう頑張ります。



金融部 共済課 共済係 出家 雅希
江別市出身 19歳
趣味 読書
至らぬ点があるかと思いますが、精一杯努めてまいりますので、何卒よろしくお願いいたします。



金融部 貯金課 貯金係 高宮 花梨
長沼町出身 19歳
趣味 ショッピング
新人らしく、明るく元気に行動し、早くなじめるよう努力していきたいと思っております。



園芸蔬菜課事務所の移転について

園芸蔬菜課職員の事務所を本所事務所から野菜集荷場に移転いたします。

移転時期は4月12日(月)より

お問い合わせ 野菜集荷場 Tel 88-0721
または各担当の携帯電話へ

**紙面を刷新・さらに充実
役立つ・楽しい・読みやすい!!**

●お申し込みは JA へ

THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS
日本農業新聞
www.nougyou-shimbun.ne.jp

「地区別懇談会」を開催

3月18日、19日の2日間、地区別懇談会が開催されました。
昨年、12月に開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止並びに組合員の皆様の健康を第一に考慮し開催を見送る



農協大会議室

こととさせていただきますが、今回、参加された組合員、ご家族の後ろ継者、青年部、女性部の皆様にマスクの着用、検温、アルコールでの手指の消毒にご協力いただいた中で開催となりました。



北長沼会館

農協からは、事業報告及び事業計画などを説明させていただき、参加された方々から農協事業へのご質問やご意見をいただきました。
今後も農協経営の健全性と組合員の経営、生活の向上をテーマに更なる「経営基盤の強化」と「農業所得の増大」に向けて取り組んでまいります。



南長沼会館

あらためて気づいた
食と農、家族のたいせつさ

“家活”で
おうち時間を
楽しもう!

“tenohikari”
家の光

月号	定価(税込)
普通月号	629円
付録月号(1・4・5・7・9月号)	922円
付録月号(家計簿付き12月号)	1,027円

お申し込みは 営農企画課 ☎88-2232

**グリーンパートナー
会員募集**

JAながぬまグリーンパートナー実行委員会では、パートナー探しのきっかけを作る企画として、交流会の開催や婚活に関する情報提供を行っています。当実行委員会へ会員登録し出会うの場へ参加してはいかがでしょう。かきと素敵な出会いがあるはずですよ。
農業者・農業後継者の女性会員も募集していますので、お気軽にお問い合わせください。

グリーンパートナー実行委員会
事務局 経営相談課
担当 安藤・鰐淵
TEL 88-12229

理事会報告 - 第2・3回 -

《令和3年3月10日開催》

[議案]

- 第1号 資産査定結果の報告について
- 第2号 令和3年度(株)FAMO長沼事業計画について
- 第3号 令和3年度事業計画について
- 第4号 総代会の開催及び提出議案について
- 第5号 役員賠償責任保険契約の支払限度額の見直しについて
- 第6号 地区別懇談会の開催について

[報告事項]

1. 行事報告事項(各委員会)について
2. 労働保険事務組合の令和2年度徴収・納付状況について
3. 資材事業予約購買の取り進めについて
4. その他

《令和3年3月17日開催》

[議案]

- 第1号 決算自治監査講評について
- 第2号 令和2年度みのり監査法人に係る監査報告について
- 第3号 令和2年度決算書類の承認について
- 第4号 通常総代会の招集について
- 第5号 「当組合における取引のリスク評価書」について

[報告事項]

1. 会議行事報告について
2. 総体的なリスク管理について(令和2年度末)
3. 経常定期点検実施報告について
4. 不祥事再発防止対策の取組みについて
5. その他

以上、すべての議案について審議し原案通り承認されました。

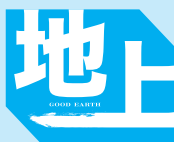
農協の動き 2/25~3/17

2月

25日	生産履歴WEB入力講習会	於 農 協
25日	長沼町まち・ひと・しごと創生推進会議	於 役 場
25日	北農健保組合理事会(web)	於 農 協
26日	(株)FAMO長沼退職辞令交付	於 農 協
26日	経営継続補助金1次・2次実績報告受付	於 農 協
26日	土地連空知支部理事会・通常全体会議	於 岩見沢市

3月

1~4日	決算自治監査(各部署・子会社)	於 農 協
3日	監事会	於 農 協
4日	空知管内JA全体常参総会議	於 空知農業会館
5日	営農委員会	於 農 協
5日	総務経済対策委員会	於 農 協
8日	北海道農協畑作・青果対策本部委員会(web)	於 空知農業会館
10日	子会社経営協議会	於 農 協
10日	理事会	於 農 協
10日	経済対策小委員会	於 農 協
11日	中央会臨時総会(web)	於 空知農業会館
11日	厚生連臨時総会(web)	於 空知農業会館
11日	ホクレン臨時総会(web)	於 空知農業会館
15日	監事会	於 農 協
16日	蔬菜集出荷施設引渡し	於 蔬菜集出荷施設
16日	無料職業紹介事業「デイワーク」説明会	於 農 協
17日	理事会	於 農 協



農業・地域・JAを担う
リーダーの雑誌

お問い合わせ 営農企画課 Tel.88-2232



今月の組合員数 (前月比)

組 合 員	1,610名(+3)
正 組 合 員	838名(+1)
准 組 合 員	772名(+2)
正組合員戸数	673戸(±0)